

ディーラーが地域に 根差すために

東北公益文科大学

チームC2

松田 関 軽部 渡部

自動車業界について感じていること (宮手専務の話を聞いて)

- 車を通して地域の人々との繋がりを大切にしている
- 自動車開発の技術が進んでいるが、自動運転などの技術を安心して車に乗れるか不安が部分もある
- 環境問題と自動車は密接な関わりを持っているため、温室効果ガスが出ない車をもっと普及させていく必要がある

地域の課題

- 若者が県外に流出していくことと同時に高齢者の増加により、少子高齢化が進んでいる
- ライフラインも発展しているわけではないので、大きな町に行くためには車が必要不可欠である
- 高齢者による交通事故が増加している

地域の特徴

- 山形県は、3世代同居率が日本1位
- 県外に流出していく人もたくさんいるが、県内に残っている若者も一定数いる



高齢者を支援していくと同時に若者が県内に残りやすいような取り組みを行っていくことが必要

地域に根差すための活動(高齢者向け)

家族に高齢者運転の危険性を認識してもらうことで安全運転サポート車に興味を持ってもらう

- ・ 高齢運転者の事故の危険性や注意事項の確認
 ▶ 事故の未然防止につながる

◆ 高齢者はなかなか講習会に参加してくれない

地域に根差すための活動(高齢者向け)

サポート車を高齢者の家族に向けて高齢運転が危険であるということ
を普及していく

家族間で高齢者が運転することへの危険意識を高めてもらう

- ・ さらに、試乗していただいたお客様に様々な割引の特典付き
▶ 購入時の割引、車検、整備費など

しかし、これだけではなかなか人が集まらない

集客するために

- ・ 写真展や絵画展、川柳展などを開く



小学校と連携して「車」を題材にした絵画、川柳のコンクールを実施する。車の試乗が行えるような景品を用意し、ディーラーに足を運ぶ機会を増やしていく

若者に向けた施策

若者に向けた施策の課題

大学進学や就職を機に県外や都会に行く人が一定数いる
流出した人々が地域に戻ってくるのが少ない



地域に残った若者を支援すると同時に
Uターン・Iターンが行いやすい環境整備
が必要

若者に向けた施策

S N S を活用した

『わがままカーニバル』などの
販売会の宣伝

若者に向けた施策

- SNSを活用して新車の宣伝やわがままカーニバルなどの販売会の様子に加え店内の様子を投稿していく
- 来店した際にSNSのコンテンツが目につきやすいように店内に掲示を行う
- SNS限定の景品を用意することで足を運んでもらえるような機会を増やしていく

まとめ

高齢者、若者共にわがままカーニバルをさらに有効活用して車の宣伝だけではなく、たくさんの方の施策を紹介していくことでより地域に根付いていくことができる

ご清聴ありがとうございました